

令和4年第2回定例会 一般会計予算・決算審査特別委員会（第3日目）  
経済建設分科会審査記録

- 1 日 時 令和4年6月17日（金） 午前10時30分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 議第77号 令和4年度村上市一般会計補正予算（第3号）
- 4 出席委員（8名）
- |    |                |      |           |
|----|----------------|------|-----------|
| 1番 | 渡 辺 昌 君        | 2番   | 河 村 幸 雄 君 |
| 3番 | 川 崎 健 二 君      | 4番   | 川 村 敏 晴 君 |
| 5番 | 大 滝 国 吉 君（委員長） | 6番   | 本 間 善 和 君 |
| 7番 | 尾 形 修 平 君      | 副委員長 | 小 杉 武 仁 君 |
- 5 欠席委員  
なし
- 6 傍聴議員（3名）  
上 村 正 朗 君 富 樫 雅 男 君 高 田 晃 君
- 7 地方自治法第105条による出席者  
議 長 三 田 敏 秋 君
- 8 オブザーバーとして出席した者  
なし
- 9 説明のため出席した者
- |                           |             |
|---------------------------|-------------|
| 副 市 長                     | 忠 聡 君       |
| 農 林 水 産 課 長               | 小 川 良 和 君   |
| 同 課 農 業 振 興 室 長           | 中 川 博 之 君   |
| 同 課 農 業 振 興 室 副 参 事       | 菅 井 学 君     |
| 同 課 林 業 水 産 振 興 室 長       | 伊 藤 幸 夫 君   |
| 同 課 林 業 水 産 振 興 室 副 参 事   | 臼 井 信 一 君   |
| 同 課 み ら い 農 業 創 造 推 進 室 長 | 高 橋 和 憲 君   |
| 農 業 委 員 会 事 務 局 長         | 八 藤 後 茂 樹 君 |
| 地 域 経 済 振 興 課 長           | 田 中 章 穂 君   |
| 同 課 経 済 振 興 室 長           | 富 樫 充 君     |
| 同 課 経 済 振 興 室 副 参 事       | 玉 木 善 行 君   |
| 観 光 課 長                   | 永 田 満 君     |
| 同 課 観 光 交 流 室 長           | 片 岡 昌 幸 君   |
| 同 課 観 光 交 流 室 主 幹         | 小 池 一 栄 君   |
| 建 設 課 長                   | 須 貝 民 雄 君   |
| 同 課 整 備 室 長               | 小 田 康 隆 君   |
| 同 課 整 備 室 副 参 事           | 伊 藤 孝 雄 君   |
| 同 課 管 理 室 長               | 本 間 孝 幸 君   |
| 同 課 管 理 室 係 長             | 船 山 ケ イ 子 君 |
| 都 市 計 画 課 長               | 大 西 敏 君     |
| 同 課 参 事                   | 小 野 道 康 君   |
| 同 課 建 築 住 宅 室 長           | 宮 村 勉 君     |
| 同 課 都 市 政 策 室 長           | 風 間 貴 志 君   |

上下水道課長	稲垣秀和君
同課経営企画室長	林奈美君
同課工事管理室長	渡邊貴志君
荒川支所産業建設課長	渡邊修君
神林支所産業建設課長	斎藤雄一君
朝日支所産業建設課長	鈴木健次君
山北支所産業建設課長	小田和弘君

10 議会事務局職員

局長	内山治夫
書記	中山航

(午前10時30分)

特別委員長(大滝国吉君)開会を宣する。

○本特別委員会の審査については、本特別委員会に設置した経済建設分科会の所管事務について審査することとし、同分科会の審査については、分科会の会長には常任委員長が、副分科会長には常任副委員長が就任し、議事運営することとした。

分科会長(尾形修平君)経済建設分科会の開会を宣する。

○本日の審査は、議第77号の経済建設分科会所管分について審査した後、議第77号の経済建設分科会所管分について賛否態度の取りまとめを行う。

**日程第3** 議第77号 令和4年度村上市一般会計補正予算(第3号)のうち経済建設分科会所管分を議題とし、担当課長(農林水産課長 小川良和君、観光課長 永田満君、建設課長 須貝民雄君)から歳入の説明を受けた後、歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後、歳出についての質疑に入る。

歳入

第16款 県支出金

(説明)

農林水産課長 それでは、予算書8P、9Pを御覧ください。16款県支出金、2項4目の1節農業費補助金の1、農林水産業総合振興事業費補助金1,152万3,000円は、JAや法人が整備する農機具等に係る県補助金であって、令和4年度の事業の第1次要望及び第2次要望の結果、見込額が3,152万3,000円となり、当初予算の2,000万円を上回るため、当初予算との差額を計上するものである。

第21款 諸収入

(説明)

農林水産課長 次に、21款諸収入、6項6目の5節農林水産業雑入の1、コミュニティ助成自治総合センター交付金1,000万円は、門前せせらぎ公園にユニバーサルデザイン遊具の整備を目的に申請を行っていた自治総合センターの令和4年度コミュニティ助成事業に採択されたことから、助成金の額を計上するものである。説明は以上だ。

歳入

第16款 県支出金、第21款 諸収入

(質 疑)

(「なし」と呼ぶ者あり)

歳出

第6款 農林水産費

(説 明)

農林水産課長 それでは、予算書14P、15Pを御覧ください。6款農林水産業費、1項3目農業振興費の1、農業振興経費、農林水産業総合振興事業費補助金1,152万3,000円は、先ほど歳入の際に説明したとおり、令和4年度事業の第1次要望、第2次要望の結果、JAや法人が整備する農機具等に係る県補助金について、見込額が3,152万3,000円となり、当初予算額の2,000万円を上回るため、当初予算との差額を計上させていただいたものである。次に、同じく5目農地費の1、ほ場整備事業推進経費58万1,000円は、朝日地域の長津地区に加え、今年2月に館腰地区の2工区及び千縄地区が令和5年度、令和6年度の圃場整備に向けた調査地区に採択されたことを受け、新たに設置されたみらい農業創造推進室で必要となる経費の所要額を計上させていただいたものである。同じく6目農山村振興事業費の1、コミュニティ助成活用事業経費1,032万9,000円は、自治総合センターのコミュニティ助成金を活用して行う門前せせらぎ公園に遊具を整備するに係る経費の所要額を計上させていただいたものだ。

第7款 商工費

(説 明)

観光 課長 その下になる。7款1項6目の観光費である。説明欄の1、観光振興一般経費の60万円であるが、こちらについてはCFとしているが、クラウドファンディングの略だけれども、クラウドファンディングを活用した観光誘客対策事業補助金であるが、この補助金については、昨年度、瀬波温泉旅館協同組合が実施する観光誘客イベントに対して補助金を交付することとしていたが、新型コロナウイルスの感染拡大によってイベントが中止となったため、準備に要した経費のみ支出というふうになった。今年度、瀬波温泉旅館協同組合が同様のイベントを実施するため、今年度分の補助金として60万円を計上し、支出するものである。次に、7目の観光施設管理費だが、説明欄の1、みどりの里経費の工事請負費527万6,000円については、物産会館前の駐車場の消雪パイプのポンプの取替え工事を行うための経費である。今年の1月末に物産会館前の駐車場の消雪パイプのポンプの故障が発生いたして、ポンプの取替えが必要だということが判明いたした。ポンプ本体については受注生産のため、納期に時間を要するため、早めに着工するために本定例会で補正予算をお願いするものである。以上だ。

第8款 土木費

(説 明)

建設 課長 同じく14、15Pになる。下段になるが、第8款土木費、2項2目道路維持費だ。説明欄を御覧ください。1、道路対策事業経費で工事請負費650万円の増額計上をお願い

いするものだ。こちらは、令和4年3月に市道殿岡南大平線の殿岡地内において、市道と並行する二級河川、石川において護岸崩落が確認されたことから、県において応急措置として仮設の大型土のうを設置している。また、河川への逸脱防止のために設けられている市道のガードレールの一部も傾いていたため、本市において仮設ガードレールを設置している現状となっている。県では、護岸復旧工事を7月中旬に完了させる予定であることから、護岸復旧工事完了後に市道ガードレールの設置工事が必要であるため、その工事費を計上させていただいたものである。なお、本事業については、緊急自然災害防止対策事業債を活用する予定としている。次に、16P、17Pの上段を御覧ください。説明欄になる。2、除雪対策経費で工事請負費1,400万円の増額計上をお願いするものだ。こちらは、河内地内の河川水を利用する市道消雪施設において、令和4年1月下旬に送水ポンプの故障が発生したことから、ポンプ1基の取替えに係る工事費を計上させていただいたものだ。なお、本事業についても、緊急自然災害防止対策事業債を活用することとしている。説明は以上である。

歳出

第6款 農林水産費、第7款 商工費、第8款 土木費

(質 疑)

- 川村 敏晴 農業振興事業の補助金だが、これについて、先ほどの歳入のときに農機具の修繕というふうに私聞いていたのだけれども、内容をもう一度お聞かせ願えるか。あと、補助率どんなものかお聞かせください。
- 農林水産課長 修繕費ではなくて、整備する、要は導入する農機具等に対するものである。今回は、パイプハウス3棟、田植機1台、トラクター3台、コンバイン4台、ドローン1台で、9事業体、12件で予定されている。補助率については、ハウスリース、ハウスについては個人農業者が農協さんを通じたハウスリースになるが、2分の1補助、附帯設備並びに農機具等については3分の1補助となる。
- 河村 幸雄 観光振興であるけれども、クラウドファンディングを活用した観光誘客対策事業、瀬波温泉協同組合というような形で話を聞いたけれども、イベントの内容、どのようなものを考えているのだろうか。前年同様のイベントを考えているというようなことを言われていたけれども。
- 観光 課長 イベントの内容については、スカイランタンを空に揚げるというふうなことである。コロナの終息の願いだとか、そういったものを込めて、終息の願いを込めて、夜空にスカイランタンを揚げるというふうなことで計画しているということである。
- 河村 幸雄 分かった。誘客ということであるので、このたびの瀬波温泉海水浴の開催というような考え方というか、開催はどのような方向性になっているだろうか。
- 観光 課長 瀬波温泉の海水浴場については、例年どおり7月15日に海開きをいたして、8月の20日までの開催という予定になっている。
- 渡辺 昌 今のところなのだけれども、クラウドファンディング、これこの間の一般質問で項目を挙げたのだけれども、ちょっと時間なくて、飛ばしたのだけれども、答弁の中に、集まった寄附額が92万8,000円とあった。その中から60万円を出したという理解でよろしいのだろうか。
- 観光 課長 寄附額の総額は92万8,000円集まった。寄附いただいた。昨年度は、46万6,000円ほど準備のほうで支出している。

尾形分科会長 質問は、その中から出したのかという質問なの。  
渡辺 昌 一般質問の中で、観光産業の皆さんを応援するためのプロジェクトには、件数は25件、92万8,000円のご寄附があったという説明があった。これ令和2年度にやったプロジェクトだと思う。その中から出した60万円なのかという質問だ。

観光 課長 ご寄附いただいたものに一部単費をプラスしている。  
渡辺 昌 今、事業説明あったけれども、事業の総額という数字は幾らなのだろうか。  
観光 課長 昨年度の申請では、総額130万円で事業費となっている。  
渡辺 昌 これ補助金ということになっているけれども、ほかの市のいろんな事業に係る補助金の制度と同じ割合で出しているという考えでいいのか。それとも、クラウドファンディングのお金を使用しているの、補助金に関してはまた別のやり方でやっているのかという、その辺のところを教えてください。

観光 課長 こちらクラウドファンディングなので、補助率等は通常の補助金とはまた別の考えでやっている。

川村 敏晴 農山村振興事業費の門前のせせらぎ公園、ここの補助の遊具の関係ということだが、1,000万円という結構な金額だと思って、どんな内容の遊具か。

農林水産課長 助成を受けるに当たって要件等があって、今回設置する遊具についてはインクルーシブのユニバーサルデザイン遊具ということで、結構ちょっと大型なもので、誰でも利用できる、誰も排除しないというふうな考え方の下で設計された遊具である。今回、本体工事については、遊具と設置費合わせて1,016万4,000円と併せて附帯工事ということで、既存、今まであった遊具の基礎部分の撤去費用16万5,000円を計上させていただいた合計となっている。ちょっと見にくいと思うが、こんな感じの遊具を設置する予定にしている。

川村 敏晴 誰も排除しないというと、大人でもいいという意味なのだから。  
農林水産課長 そうだ。だから、ユニバーサルだと比較ある程度よりも、インクルーシブだとそれをさらにその上に行くというふうな基準なものだそうだ。

川村 敏晴 丈夫だということなのかな。  
農林水産課長 丈夫だけではなくて、誰でも利用できると、要は利用する人を区別しないというふうな考え方らしい。

川村 敏晴 もう一点、これは100%補助と考えていいのだろうか。  
農林水産課長 こちらについては、助成額が上限1,000万円となっている。なので、今回は上限いっぱい助成を受ける形になっている。

渡辺 昌 農業振興経費の当初予算以上の申込みがあったということで、2,000万円のところに3,000万円の申込みがあったということなのだけれども、3分の1増えたわけだけれども、その背景というのは分析されているか。

農林水産課長 この補助金については、第1次、第2次という形でそれぞれ募集をかけたり、昨年度来から事前に相談を受けてきたものがある。当初は、相談を受けていたものをベースに前年度の実績等を踏まえた形で予算計上させていただいていたが、その後追加要望というふうな形のもので、秋作業以降に導入するから使えるものというふうな形で追加要望があって、今回の額になったという形になる。先ほど説明させていただいたように、今後予定されているものについては、ドローンとかコンバイン、あとトラクターというふうな形のもので今後予定されている。

渡辺 昌 先ほど項目の中にパイプのこともあったのだけれども、例えば今年の冬かなり大雪で、そういう被害いろいろ農業関係もあったと思うのだけれども、そういうのは直

接関係ないのか。

農林水産課長 昨年度の被害については、国の緊急対策でパイプハウスの修繕という形での補助事業でさせていただいているが、この県単補助については基本修繕だとか入替えというような形ではなくて、新たにとか規模拡大というふうな形のものの要件となっているので、今回のものについては新設というふうな形になる。

川村 敏晴 農林水産振興費なのだけれども、さっきの説明で若干気になった言葉が、これ3月議会で説明あったのだかもしれないけれども、みらい農業創造推進室、これの、私も不勉強で恥ずかしいのだが、今の活動状況というか、そこをちょっともう一度分かりやすく説明してください。

農林水産課長 今現在朝日地区で進められている、要望等をさせていただいて進めている圃場整備事業がある。1つが長津地区といったところ、館腰の長津川流域へ、笹平から瑞雲、釜杭というふうな集落になるが、そちらのほうで一応64ヘクタール強の圃場整備に向けた、今年度から調査設計、調査事業に着手している。あと、新たに今年の2月に館腰地区、どちらかというところと高速道路から海側のエリアになるが、そちら2工区、約200町歩弱の面積が、1つが来年、令和5年度調査地区、もう一つの122ヘクタール分が令和6年度からという形で調査地区に選定されている。併せて、布部の地区の千縄集落というところ、約10町歩ちょっと、11町歩になるが、こちらについても令和6年度からの調査という形で採択を受けていて、それに係る書類の作成だとか、集落へ行っての説明だとか、様々なちょっとそういう圃場整備に向けた事前準備だとか調整作業だとか、今回の事業については中間管理機構の関連整備事業といった事業を取り組むところもあって、この要件といたして整備した農地エリアの2割の農地で畑作をしなければいけないと、園芸に取り組まなければいけないといった要件がくっついている関係もあって、その品目の算定だとか、それに向けた支援、どんなふうな形がいいのかとか、そういうふうな話合いなんかも、この新たな推進室のほうで担当して進めている。

川村 敏晴 みらい農業創造推進室そのものは、もう圃場整備の推進に特化した部署であるというふうな捉え方でいいか。

農林水産課長 今現在はその形で、朝日支所内で室を設けて執務に当たっている。

川村 敏晴 この時期というか、いわゆる米生産に係る圃場整備事業という、増産というふうなことが、あとは生産事業、作業の効率だとか、いろいろあるのだとは思いのだけれども、昨今中国向けの米を生産して、地元米の販売力を増したらいいのではないかというふうな民間の考え方の紹介されたりはしているのだけれども、この辺の圃場整備の進捗がそういう部分に何か行政として布石があるととか、そういうことはないのか。

副市長 私のほうからお答えさせていただく。まず、中国向けの輸出云々については、これ民間事業者が今検討されているということは聞いているけれども、農家の皆様方がそれをどう捉えて、どう進めるのかどうなのかという受け止め方によるものというふうに思っていて、市といたしてはその動向を見守っているということで、まずはご答弁申し上げます。それから、圃場整備、今朝日地区で進められている、これ今後この村上市内においてのいわゆる持続可能な農業の経営の在り方をやっぱりモデル的に進める意味で大変重要な圃場整備だというふうに捉えている。これは、単に米の生産を上げるということではなくて、より効率的な持続可能性の高い農業経営を実現していくのだという、こういう考え方の下に進めている事業である。したがっ

て、ハードとソフトを併せ持った、いわゆる農業振興そのものをこのみらい農業創造推進室で農家の皆様方と一緒に、地域の方々と共有しながら進めていくということで、将来の重要な担い手を育成するという観点からも重要な取組だというふうに考えている。繰り返し申し上げるけれども、将来における村上市の農業振興の重要なモデル的な取組だというふうに位置づけているので、今後ともそういった意味でのご理解をいただきたいというふうに思う。

尾形分科会長 ほかになければ、私から1点、先ほど出たけれども、コミュニティ助成の件なのだけれども、昨年もこのコミュニティ助成を使って岩船の臨海地というか、福田組さんの事務所の前に同じぐらいの予算で1基、ユニバーサル型の遊具つけた。去年の秋口だったので、どうなのかなと思っていたのだけれども、現在まで、私もうしょっちゅうあそこ通るのだけれども、利用している方見たのは1回だけだ。1,000万円の巨費を投じてやるからには、より多くの市民の方に使っていただくということも大事な私視点ではないかなと思っているし、今回この門前を指定したのが悪いとは言わないけれども、門前という地区は言ってみればどん詰まりのところなので、そこに1,000万円のお金をかけて、どれだけの市民の方がそれを利用するかということも、私は設置する中でも検討されたのだと思うのだけれども、その辺、課長いかがか。

農業振興室長 今ほどの門前せせらぎ公園ということになるけれども、こちらはもともと集落外からの利用が多いところで、例えば蛍の鑑賞だとか、また後ろには耕雲寺があるし、そういった観点で集落以外の方の利用が多い公園になっている。そういったところも考慮して、今回、また門前の今の状況だけれども、当初あった木製の遊具、こちらが全部朽ちてしまって、遊具が一つもない状態になっている。そういった集落からの要望もあったものだから、こちらのほうを選定をしている。

尾形分科会長 私は、設置するのが悪いと言っているのではなくて、これだけの巨額のお金を使って遊具設置したのだから、それを市民の方にも広くPRする必要もあるのではないかと思っていたので、市報とか様々な場面でPRしていただきたいと思いますというけれども。

副市長 おっしゃるとおりかと思う。いろんな予算を活用しながら、そういった要望に応えていくけれども、本当にそれが利用価値の高い、そして広く皆様方に利用していただけるためにはアピールというか、PRがやっぱりどうしても必要かというふうに思うので、今まで不足していた部分を改めて取り組んでいきたいというふうに思う。

(自由討議)

(「なし」と呼ぶ者あり)

(賛否態度の発言)

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で質疑を終結し、自由討議を求めたが自由討議なく、賛否についての発言を求めたが発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第77号のうち経済建設分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

分科会長（尾形修平君）閉会を宣する。

(午前10時59分)